



KT100 クラス表彰式



HDX オープン表彰式



HDX ミッションクラス表彰式



2016 文部科学大臣杯 JAPAN KART CUP  
with HDX シリーズ第2戦  
開催コース/筑波サーキット (茨城県)  
主催/日本スーパーカート協会  
開催日/5月29日 天候/晴れ  
路面状況/ドライ

## 文部科学大臣杯 JAPAN KART CUP with HDX シリーズ第2戦



開幕戦は二級整備士試験と重なったことで欠場していた橋本隼が復活。HDX オープンを制した



今季より KT100 に参戦しているボルジャ・ダグラスが初勝利。新型シャシーが投入された



ペナルティ判明直後、総合トップを失って落ち込む生方を家族が優しく励ます。それでもショックは大きく、しばらくは悔しさを滲ませていた



生方と WR250 優勝®トマホークのバトル。リーダーの東島清二選手は事故の後遺症を足に残すが大排気量マシンを軽々と振り回していた

障害者と健全者が四輪ロードコースを舞台にレースを展開する HDX シリーズ。その第2戦は5月29日、初夏の到来を思わせる強烈な日差しのもと、茨城県・筑波サーキットで開催。

正午前にスタートが切られると、まず序盤はオープンのディフェンディングチャンプ橋本隼と、紅一点、佐藤那未によるマッチレースに。

レース中盤に差し掛かると、コース外にストップしたカートを回収するためにセーフティカーが投入されて一旦、仕切り直しとなる。

ここから気を吐いたのがミッションの生方靖亜。格上となる JK カップ WR250 の優勝チームにも競り勝つという力走を見せて、総合トップでチェッカーをくぐり抜けたのだ。

会心の走りで総合優勝を手にしたのもつかの間、ピットアウト時に信号が赤のタイミングでコースインしてしまったということで、合図違反の30秒ペナルティが科せられてしまう。

これにより3つ順位がダウンしてしまい、生方の総合優勝は幻となってしまったのだった。